

令和5年度 第1回 印西市地域自立支援協議会議事録

- 1 開催日時 令和5年5月26日(金)
13時30分～14時30分
- 2 開催場所 印西市役所会議棟 204 会議室
- 3 出席者 岡本芳美会長、高橋睦美委員、山崎博志委員、橋本美枝委員
佐野明彦委員、萱場千賀子委員、畑中茂委員、浅井晶子委員
渡辺明委員、佐藤直人委員
- 4 欠席者 塚田昌幸委員、松島浩一郎委員、近藤幸一郎委員、久本真司委員
平佐孔嗣委員
- 5 事務局 障がい者福祉課長 平川
障がい福祉課 唐澤、川村、古山、佐藤（陽）、佐藤（考）
補佐：いんば障害者相談センター 佐藤、橋本、嶋津
- 6 傍聴者 0名
- 7 議題 1 議題
(1) 令和5年度印西市地域自立支援協議会事業計画について
資料1 資料2

(2) 障害者基本計画進捗状況報告 資料3

(3) 障害福祉計画進捗状況報告 資料4

(4) その他

2 その他

議事

(司 会)

それでは、ただ今から「令和5年度第1回印西市地域自立支援協議会」を開催いたします。本日は委員15名のうち9名のご出席をいただいておりますので、地域自立支援協議会設置要綱第6条第2項の規定により、会議は成立となります。会議に入る前に、一部、委員の交代がございましたので、簡単に皆様の自己紹介をお願いいたします。岡本会長からお願いいたします。

(自己紹介)

有難うございました。

それでは、次第1の議題に入らせていただきます。印西市地域自立支援協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となることになっております。岡本会長、宜しくお願い致します。

(議長)

それでは議長を務めさせていただきます。議事がスムーズに進むよう今日はちょっと人数が少ないですが、皆様ご協力をよろしくお願い致します。

それでは「議題(1)令和5年度印西市地域自立支援協議会の事業計画」を各部会からご説明させていただきます。なお、こちらについては、令和4年度の第2回会議において、すでに承認されておりますので、ご説明のみとなります。

では生活・相談支援部会からお願いします。

(生活・相談支援部会)

資料1 について説明を行う。

(議長)

有難うございました。では次に行きたいと思います。

就労部会の方のご説明をお願いいたします。

(就労部会)

資料2 について説明を行う。

(議長)

有難うございます。では、今の説明の中でもう少しというようなことがございましたら。大丈夫ですか。では、各部会の計画通り進めてくださるようお願いいたします。

では次に、「議題(2)の障害者基本計画進捗状況報告」と「議題(3)の障害福祉計画進捗状況報告」は関連がございますので、まとめて事務局から説明をお願いします。

(委員1名が遅れて出席)

(事務局)

資料3、資料4について説明を行う。

(議長)

それでは、ただ今のご説明に関して、ご質問、ご意見はございますか。

では、特に今質問が出ませんので、「議題(4)その他」の方に移りたいと思います。そちらは今までのものに関してのご質問でも構いませんので、皆様に何か意見がありましたら、ご発言ください。

(A委員)

先ほどの障害者計画では概ね順調ということでしたが、資料を見てもよく分からないといえますか、印西市さんとして進捗状況を見て感じる課題は何かありますか。

(事務局)

総合的な供給量としては達成していると思うのですが、必要な方に必要な量のサービスが届いているかというところは課題かと思います。

(議長)

よろしいですか。

(A委員)

それは全体的な数字の上では目標を達成していたけれども、個々に見ると・・・。

(事務局)

そうですね。障害に関してはやはり個々によって状況が変わるので、個々の状況に応じた対応をすることが課題かと思います。一律なものではなくて個々に合わせて。

(議長)

よろしいですか。

(B委員)

印西市障がい者プランの13ページの地域移行支援に8人となっておりますが、正直この圏域でこれだけ上げているのは印西市だけで、いんば障害者相談センターが頑張っているのだと思います。事業概要の中にグループホームがあると思いますが、今結構あちこちでグループホームが乱立していて、空きがすごいあったりとか、質が…みたいなことを言われていますけれども、印西市の方の今のグループホームの状況を知らないので教えていただきたいです。新しい株式会社が日中サービス支援をなかなかできないとかそういうものがありましたら教えてください。

(事務局)

グループホームに関しては、市内でいうと、年に1件、2件程度の施設の増という状況になっ

ておりまして、主に空き家を借りている事業所がぽつぽつと増えているような状況です。エリアの偏りは一つ課題かなと思います。千葉ニュータウンのあたりにはなかなか増えないようです。

(議長)

そのあたりでもし情報をお持ちの委員がいましたらお話してください。
他にございますか。

(C委員)

利用者の観点からということで、令和3年度から令和5年度の印西市障害者プランの方で、取り組み3のところに多くの人が使用する施設のバリアフリー化ということで書かれているのですが、13ページをご覧ください。これは1つということは完了100パーセントということですよ。ただ、ずっと以前からお願いしていることなんですけれども、オストメイトトイレについては印西市は非常に充実していると思うのですが、大人で紙パンツを使用している方がいるが、ベビーベッドしか設置されていない。大人はベビーベッドは使えないので、大人用の折り畳み式のベッドをずっとお願いしているけれども、検討中ですと言われていたので、これで完了と言われるとちょっとどうかなと…。それからおむつをしている大人の障がいのある方、老人用のものが必要になってくると思います。是非是非、お願いしたいと思います。大きい施設に、せめて市役所をお願いいたします。

(議長)

他にはありますか。

(D委員)

聞くのが恥ずかしいんですけども、障害者福祉計画の方の実績値というのは、支給しているけれども使われないケースで0という場合はあるのですか。使わないと実績にはならないですよ。

(事務局)

そうですね。利用実績のある方のみとなっています。

(D委員)

私は自分が関りがある事業以外詳しくはないのですが、0の実績のところはそもそもやっているところがないという実態もあるのですか。

(事務局)

例えばなんですけど、障害福祉計画の5ページの一番下の重度障害者等包括支援は実績が0になっていますが、利用可能な事業所がないということで、対象の方はいらっしゃるが、別のサービスで代用しているような状況です。

(D委員)

あてがない場合は支給しない方がいいんですね。

(事務局)

そうですね。計画案に基づいての決定なので、利用の見込みがない場合にはそういった計画は相談支援の方から回ってこないのでは支給決定はしません。

(議長)

有難うございます。他にございますか。

(E 委員)

それぞれの事業を個別ではいろいろやられているが、市は総合窓口のように行けば何でもやってくれるようなところはありませんか。基幹相談支援センターに行ったらいいのか、どこに行ったらいいのかなど、総合支援窓口がすぐに調べられない気がするんですよ。特に障害をお持ちの人の家庭で相談に行かない、自立支援医療は受けているけれども、相談については利用していない人です。そのような人に対して印西市は自立支援協議会で冊子等を作成しています。

また、私が一部担当している市の精神障がい者理解促進講座の参加者が少ない。もっと参加者を増やせないか。

その他、他の事業所とも連携できないか。事業所同士の連携の機会がもう少しあってもいいのではないか。

先ほどのグループホームについては一つ問題がありまして、県の方にも言っているのですが、所謂、民間の福祉で儲けるといって会社がいくつかあります。もちろんきちんと運営されている企業もあるので一概には言いづらいが、結構そういうものもありますので、一概に数が増えたから良いというものではないなという感じを受けます。グループホームから就労に通えるなど、もう少しまともな支援できるのが一番いいな。我々としても、努力不足というか、障害者関連の事業所がもう少しコラボしてできないかとか事業所側からもオファーしていかないとなかなかやってもらえないケースがありますけれども、ぜひ今後福祉サービスに携わっているものがみんな協力してやっていくのが大切というのを少しずつやってもらいたいなというか、やっていく必要があるなと思います。

(議長)

他にございますか。

(F 委員)

7 ページの、日常生活用具給付事業についてお伺いしたいのですが、昨今物価が上昇していて、いろいろな物の価格が上がっているんですけども、支給の上限額とかもそれに見合せて上げていただかないと、生活する方が苦しいのかなと思ったりですとか、災害の時のことを考えると内容的にももう少し増えても良いのではないかと思うのですが、それについての考えや方向性を教えていただけたらと思います。

(事務局)

今のお話の中で、具体的に苦勞されている方のお話がありましたら教えてください。

(F 委員)

物価が上がってきているので、条件もそれに付随して上げていただくことや、見直しなどはできるのですか。

(事務局)

(日常生活用具の費用が)市が指定している上限額以上になってしまうということでもよろしいですか。実際にそのような方がいらっしゃいますか。今のところそのような話は伺ってなくて、メーカー側からも、値上がりしているというのは伺っていないのですが。

(F 委員)

福祉用具に関しては、物価が上がってきているということに関しては例外的な感じなのですか。

(事務局)

国のある程度の基準があるので、それに則って行っているのですが、おっしゃるように福祉用具の種類もだいぶ多岐に渡ってきていますので、そのあたりでその器具が入るのかどうかというのはある程度市の判断に任されてくるのはあると思いますので、その場合は相談していただきながら対応していきたいと思います。昨年度は議会の中でも暗いところで見えるような視覚の障害をお持ちの方に対する用具の要望があったのですが、日常生活用具の項目に追加しています。ですから、皆様からのご意見等によって、こちらもできるだけ柔軟に対応していきたいと思います。何かありましたらご相談いただければと思います。

(議長)

他にございますか。

(D 委員)

障害者計画の 8 ページの計画相談の件数が、高い数値が出ていて、先日相談に来られた市民の方が、セルフプランでやっていることがありまして、セルフプランの方っていうのはまだ相当数いるものなんですか。

(事務局)

今具体的な数字は出ないのですが、計画相談がついている方が多いのですが、今の市の傾向だと、特に期間が決まっているようなサービスで、就労移行は 2 年で終わってしまうのですが、そういう方に関してご希望があればもちろん相談員を付けていただくんですけど、すぐ使いたいとかのご要望にも対応するために、セルフプランでというご案内もさせていただいています。ただセルフプランの人の方が少ないです。

(D 委員)

直接市の窓口に来た場合で、まだ相談員がついていない場合は必ずしも相談員を勧めるわけではなく、状況に応じてですか。

(事務局)

状況に応じて、ご利用者のご希望に応じて行っております。

(議長)

他にございますか。せっかくの機会ですので。

(A委員)

ではせっかくの機会ですので。障害者プランの、12ページなんですけど、特別支援教育の支援体制づくりの学習指導員及び介助員の配置とありますが、学習指導員と介助員の違いを教えてくださいませんか。学習指導員44名、介助員41名配置しているみたいなんですけど。わかる方がいましたら。

(事務局)

詳しく説明がこちらではできなくて、各課をお願いして出しているから。

(G委員)

違いですか。私も小中の方はあまり分からないのですが、高等部の方で介助員は指導はできないんですけど教員の補助的なことをして、児童生徒に付いて、具体的には学習の介助。特別支援学校では学習をやっている際に介助が必要な生徒さんの方に付いて、一緒に担任先生と少しでも学習がスムーズにできるような形で勉強しています。小中の方は、学習面と、日常生活を分けているんでしょうかね。

(C委員)

学習指導員と、介助員の違いは、介助員の方は学習指導はできません。本当に生活介助。だから授業をしていたら生徒のわきにいて、何かちょっと鉛筆で書けないとかいうときに補助したりとかその程度。学習指導員というのは、本当に学習指導。計算ができないとかいうときに支援をする。

(A委員)

印西市では分けて採用しているということなんですね。

(議長)

すみません、議長が発言して申し訳ないのですが、学習指導員は教員免許がないとだめだと思います。介助員さんはなくても可能だと思います。

(C委員)

教員免許が無くても学習指導員にはなれます。よく足りないと言われていて。ただ実際は介助員さんも学習指導をしています。

(E委員)

ここに書いてある特別支援連携協議会年2回実施というのは障害者団体が入っていますか。

(事務局)

これをやっているのは指導課なのですが、自立支援協議会と、印旛特別支援学校のPTAの方が参加しています。

(E委員)

昔うちの団体で入っていたんですよ。ご存じかもしれませんが。昔より数が減っているんです。昔って言っても10年以上前ですが。

(議長)

他にありますか。では、特に無いようですので、これで議事を終了いたしますが、何か細かいことでありましたら、市役所の方がおりますので伺ってください。では、議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(司会)

岡本会長有難うございました。

次第2のその他でございますが、お配りした、印西市成年後見支援センターにおきまして、今年度から、印西市社会福祉協議会に設置されたものになります。市の委託事業として、成年後見についてのご相談や、申し立ての支援などを行っておりますのでぜひご活用していただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。以上をもちまして「令和5年度 第1回印西市地域自立支援協議会」を終了いたします。お疲れさまでした。

令和5年5月26日に開催された、令和5年度第1回印西市地域自立支援協議会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和5年 6月16日

署名委員 佐藤 直人
